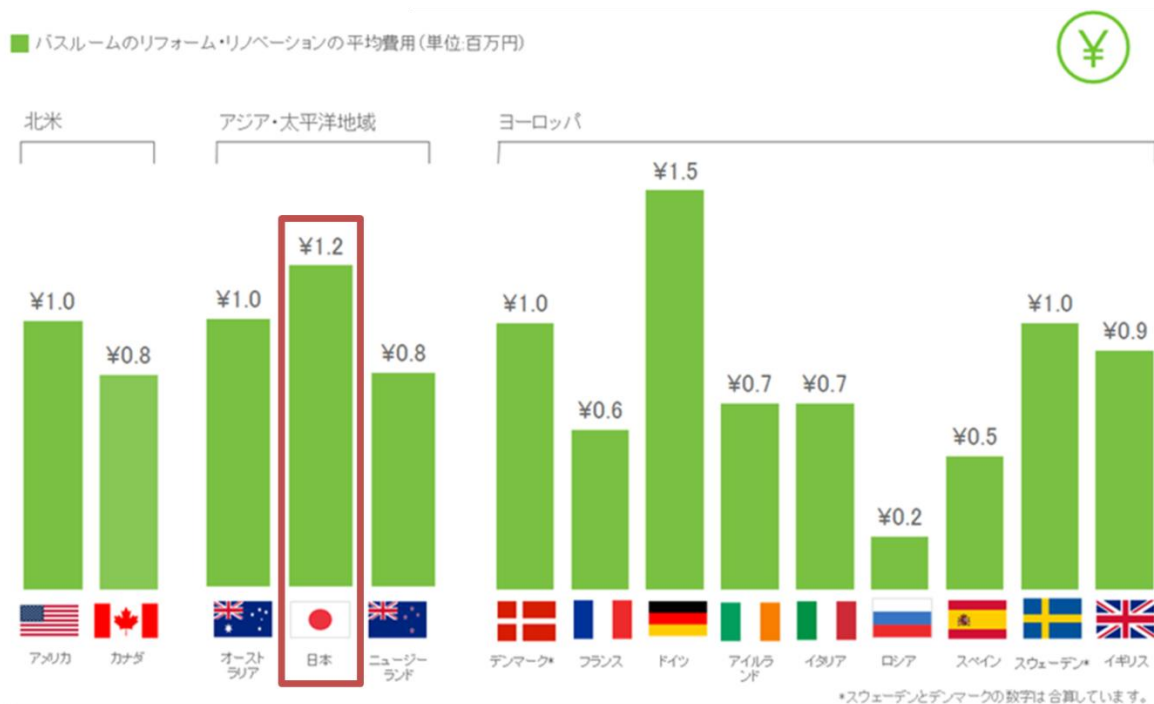


11月10日は「トイレの日」 世界の「最新バスルーム リフォーム事情」を公開！

～日本の多機能トイレ設置率は世界第1位、バスルームにかかる費用は世界第2位！～

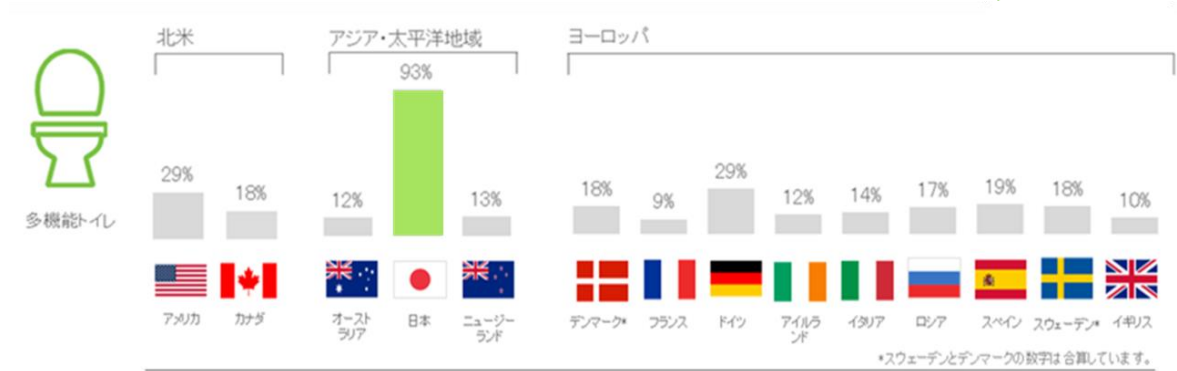


バスルームのリフォーム・リノベーションの平均費用(単位:百万円)

2017年11月、世界最大級のリフォームとインテリアデザインのプラットフォームを提供する Houzz Japan 株式会社 (所在地:東京都渋谷区、代表取締役:加藤愛子、以下、Houzz <https://www.houzz.jp/>)は、この度「バスルーム リフォーム市場調査 2017年」の調査結果を発表しました。

多機能トイレ設置数は世界第1位

世界の Houzz ユーザー 10,472 人 (日本 231 人) が回答した今回の調査によると、過去1年から今後3ヶ月の間に「バスルームのリフォーム・リノベーションを行った」、または「行う予定がある」と答えた各国の回答のうち、「新しいバスルームに取り入れた機能」を世界各国で比較してみると、日本は2位のドイツの29%を大きく引き離し、93%の人が「多機能トイレ」を取り入れていることがわかりました。これは昨年の調査引き続き、世界第1位の結果となっており、日本のトイレに対するハイテク機能ニーズの増加が伺えます。



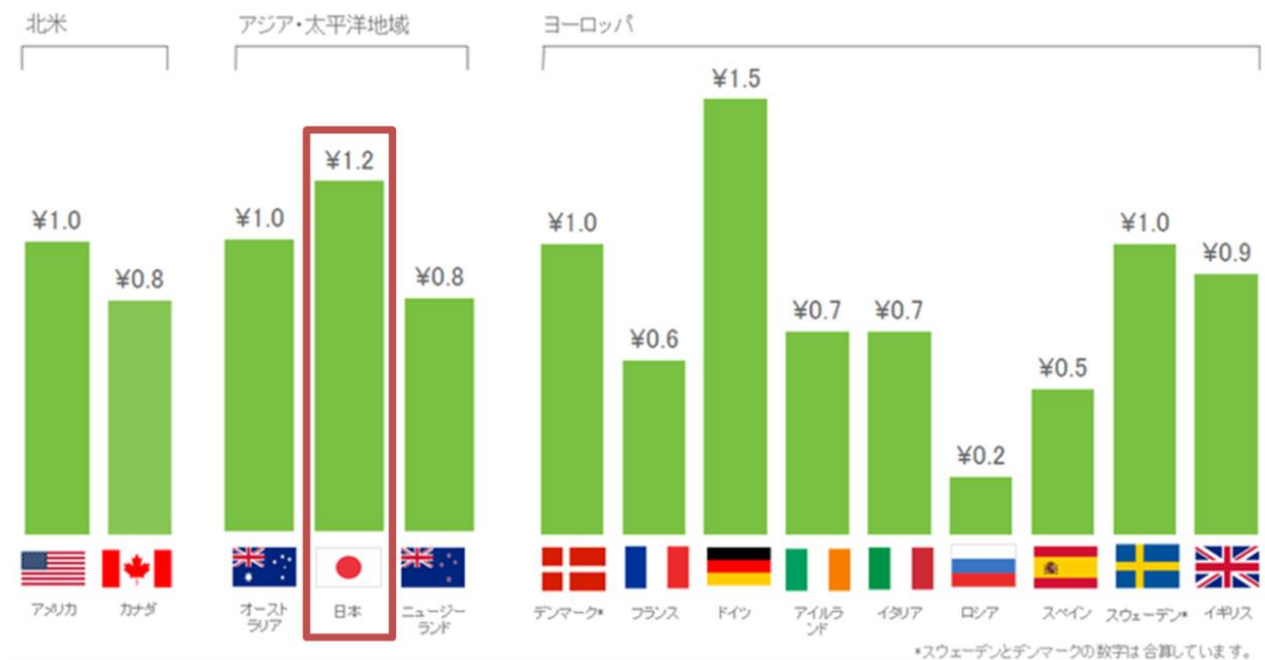
過去1年間と今後3ヶ月の間に行う予定の人のうち「多機能」なトイレを取り入れた割合

リフォーム・リノベーション費用は世界第2位

さらに今年の9月に発表した「Houzz & Home (Houzz 住まいのアンケート 2017) 調査」によると、2015年から2016年に改装されたバスルームの平均費用は、世界各国と比較するとドイツに引き続き世界第2位という結果になっています。日本では大型のバスルーム(3平方メートル以上)のリフォーム・リノベーションに約120万円費やしており、各国の平均費用が85万円なのに対し高い水準となっていることがわかります。年齢層別の平均費用では、55歳以上のホームオーナーが140万円、35~54歳が100万円、35歳未満が65万円となっています。

また、日本でのバスルームのリフォーム・リノベーションの依頼先は、96%ものホームオーナーが住まいの専門家に仕事を依頼していることが分かりました。もっとも多く仕事を依頼した専門家は、施工会社・工務店(57%)、バスルームリフォーム業者(19%)、建築家(16%)、インテリアデザイナー(13%)です。

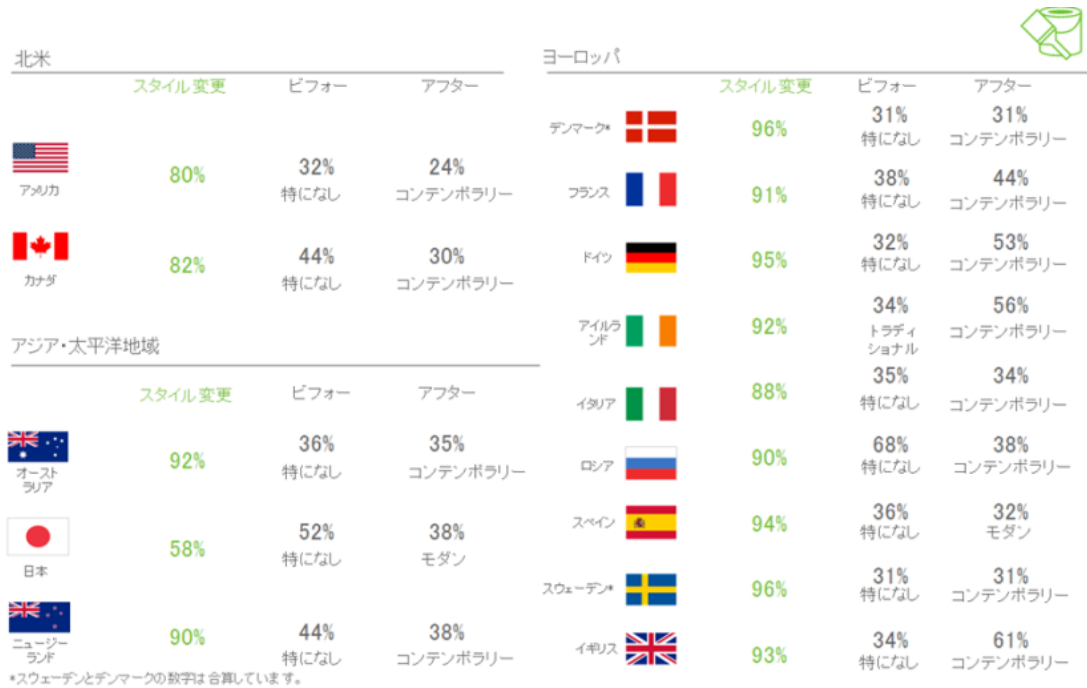
■ バスルームのリフォーム・リノベーションの平均費用(単位:百万円)



バスルームのリフォーム・リノベーションの平均費用(単位:百万円)

日本人はモダンなスタイルを求める傾向に

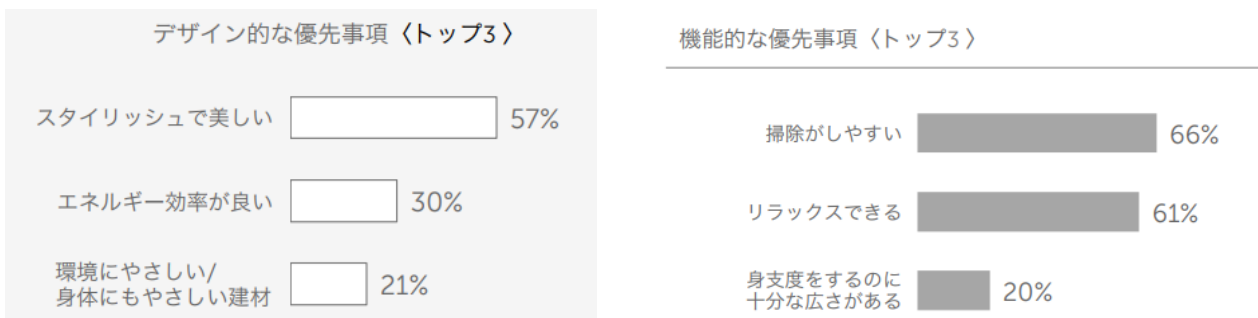
本調査の結果、バスルーム（浴室・トイレ）のリフォーム・リノベーションを行った人の10人のうち6人が、バスルームのスタイルを変更していることがわかりました（58%）。変更後の一番人気は「モダン」スタイル（38%）。特に55歳以上の人々が「モダン」スタイルを選ぶ傾向にあり（34%）、34歳以下の年齢層で「モダン」スタイルを選ぶ人（22%）と比較しても高い傾向があります。34歳以下の年齢層は55歳以上の人に比べ、「コンテンポラリー」（22%）と「北欧」（17%）のスタイルを選ぶ傾向があります。バスルームのリフォーム・リノベーション前は、年齢層を隔てず52%以上ものホームオーナーが、スタイルを定めていないことがわかりました。



過去1年間と今後3ヶ月の間に行う予定の人のうち
スタイルを変更した人の割合と「スタイル」のビフォー・アフターとその割合

日本人は美しくスタイリッシュでエネルギー効率が良いデザインを好む

デザイン面における優先事項については、バスルームのリフォーム・リノベーションを行った人のうち半分以上が「美しくスタイリッシュであること」（57%）を希望しています。次に「エネルギー効率が良いこと」（30%）、「環境にやさしい・身体にもやさしい建材」（21%）が重視されています。年齢層によって顕著な差があった優先事項が「自分自身を表現している」ことで、55歳以上では8%であるのに対して、34歳以下は18%と、低い年齢層でより高い傾向があります。機能面では、年齢層を隔てず改装することで、掃除がしやすい（66%）、リラックスできる（61%）、身支度するのに十分な広さがある（20%）が重視されています。

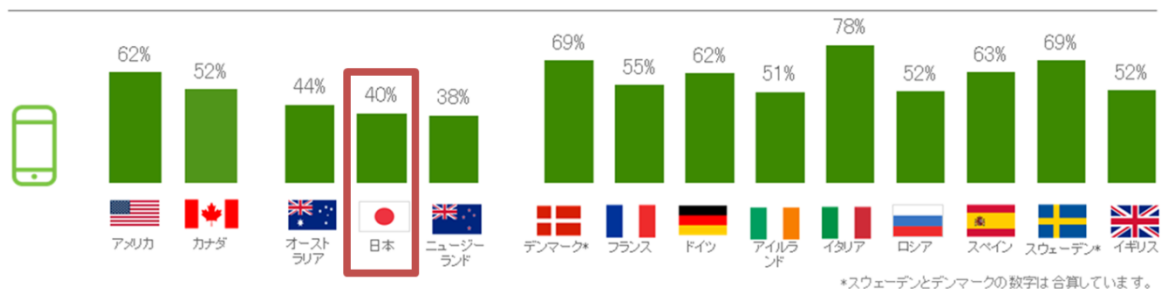


日本の Houzz ユーザーで過去1年間と今後3ヶ月の間に行う予定の人が回答した
機能的な優先事項とデザイン的な優先事項

その他の主なトレンド:

- **シャワースペースの拡張**: 浴室をリフォーム・リノベーションするホームオーナーのうち、38%が広さの拡張をしました。人気のあるシャワーの種類は、ハンドシャワー（42%）、水流の種類や強さを変えられるシャワーヘッド（27%）、温度・水量調節機能一体型シャワー（15%）です。
- **アルコーブ浴槽が7割強**: 浴槽をリフォーム・リノベーションする約3/4ものホームオーナーはアルコーブ浴槽（72%）を希望し、すべての年齢層で滑り止めの床（73%）が人気の機能として選ばれています。
- **日本の人気の色は白とグレー**: キャビネット（50%）、カウンタートップ（43%）、壁（32%）の人気色は白で、アクセントとしてグレー（28%）やベージュ（20%）の床を選ぶホームオーナーが多い傾向にあります。
- **ハイテク機能へのニーズ増加**: リフォーム・リノベーションでハイテクな多機能設備を導入したホームオーナーのうち、多機能トイレを導入した人（93%）が自動洗浄やトイレ詰まり防止システムを、多機能浴槽を導入した人（20%）は内蔵型照明やアロマミストディスペンサーなどを追加しています。
- **入浴中にモバイル機器で音楽を楽しむ**: 全体で40%ものホームオーナーが週に1回はバスルームでモバイル機器を使用しており、音楽を聴く（21%）、ビデオやテレビを見る（13%）、SNSをチェック（12%）を行う人がいることが分かりました。

バスルームでモバイル機器を使用する割合:「少なくとも週に1回」



過去1年間と今後3ヶ月の間に行う予定の人のうち
入浴中にモバイル機器を「少なくとも週に1回」使用する人の割合

「2017 HOUZZ BATHROOM（日本）～Houzzバスルーム・アンケート」は、Houzzに登録している一般ユーザーを対象に、2017年6月から7月に実施しました。過去1年間にバスルームのリフォーム・リノベーションを行った、または現在進行中・今後3ヶ月の間に行う予定の人を対象にオンライン調査を行い、231名から得た有効回答を集計したものです。

こちらから、日本の調査結果をダウンロードいただけます。

<https://info.houzz.com/rs/804-JLJ-529/images/HouzzJPBathroomTrends2017.pdf>

こちらから、国際比較の調査結果をダウンロードいただけます。

<https://info.houzz.com/rs/804-JLJ-529/images/HouzzGlobalBathroomTrends2017.pdf>



Houzz とは

Houzz (ハウズ) は、カリフォルニア州パロアルト在住の夫婦アディ・タタルコとアロン・コーエンが2009年2月にローンチした、「住む人」と「住まいのプロ」をつなぐ、世界最大級のリフォームとインテリアデザインのプラットフォームです。住まいづくりのプロがシェアした、住宅デザイン、設計、インテリア写真、アイデア、アドバイスなど、住まいの快適さを改善するためのあらゆる情報を提供しています。 <https://www.houzz.jp/>